



すえちゃん

# しりょうかんだより



どつたくん

No.29

## 資料館にあるふしぎな額の巻



何て書いてあるの？



崇化館は江戸時代に  
孝母藩が建てた藩校  
の名前だったんだ！



<学問・射的御見分の図(牧野敏太郎画)>



先生と生徒の入り口は別々でした。  
試験もあったんだって！



<崇化館之図(牧野敏太郎画)>



藩校崇化館があった場所には石碑  
が建っているよ！



天明7年(1787)、孝母藩主内藤学文公が七州城内に開校しました。藩士のこども(8才から15.16才までの男子)が、弓、剣術の武芸や文学などをここで学びました！

## 古い道具紹介 -昔ののこぎり 木挽鋸-

↑長さ46センチ↓



<長さ84センチ>

縦挽きの大きな鋸で、大鋸(オオガ、オガ)、ダイギリなど、地域によってさまざまな名前がありました。木材から板を切り出すときに使い、時間がかかりました。昭和30年代までつかわれました。



<土農工商図屏風(旧鈴木家資料)より>

郷土資料館(民俗資料館)にもあるのでぜひ見学に来てね！



# 市内の史跡探検!! = 足助の町並みを歩いてみよう!

足助町の町並みは、かつては「塩の道」「中馬街道」とも呼ばれた旧伊那街道沿いに、古い建物のようすが残っていて、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。江戸から明治時代にかけての昔の人々のくらしぶりを見ることができます。



塩問屋のおもかげをのこす「苺屋」さんでは、今も塩飴などの塩製品を売っています!

古い建物がたくさんあるね!



江戸時代から旅館としてにぎわった玉田屋の提灯!



大きな商家の屋敷が今も残る旧鈴木家住宅! (国指定重要文化財)



寛政11年(1799)建立と書かれた常夜灯は、町の入り口にあります!

昔の町並みがよくわかるね!



「右ほうらい寺 左ぜんこう寺」と道の行き先をしめす道標!



足助中馬館の建物は、大正元年(1912)にできた稲橋銀行足助支店でした!



**3月21日(金・祝)～4月6日(日)は、郷土資料館の春休みこども週間です!**  
 ワークショップで、「貝合わせ」などを作ることができます。昔のあそび体験もやっています!  
 クイズラリーで、館内を探検してみよう! (正解者には景品があります)

しりょうかんだより No.29 平成26年3月11日発行  
 お問い合わせ先 豊田市郷土資料館  
 〒471-0079 豊田市陣中町1-21 電話 0565-32-6561  
 E-mail rekihaku@city.toyota.aichi.jp  
 ホームページ <http://www.toyota-rekihaku.com>



「郷土資料館への行き方」  
 名鉄「梅坪」駅から南へ徒歩10分  
 名鉄「豊田市」駅から北へ徒歩15分  
 とよたおいでんバス「陣中一丁目」から徒歩5分